



Profile



氏名：平出将孝(Hiraide Masataka)
 出身：福島県
 職種：手芸
 期間：2017年10月～2019年9月
 赴任地：東ティモール首都ディリ
 活動：配属先は文化庁の主に工芸品を取り扱う部署で生産者グループの支援を行っています。

Timor-Leste

公用語：テトゥン語ポルトガル語
 人口：118万人(岩手県ぐらい)
 面積：約15,000km(岩手県ぐらい)
 宗教：大半がカトリック
 通貨：アメリカドル
 歴史：ポルトガルの植民地後、インドネシアが制圧。1999年の住民投票でインドネシアからの分離・独立を選択し、2002年に独立国家となりアジアで一番若い国と呼ばれている。



オエクシ

1 最近は大バタバタしてます

慌ただしく11月が過ぎて行きました。この前同期隊員と話したら来年10月の帰国まで残り44週だそうです。



クリスマスツリーのデコレーション作成

2 配属先の活動

ようやく予算が下り、10月から延期に延期を重ねたイベントが開催されました。開催の決定はなんと実施日の4日前で、急ピッチで準備が行われました。

その他にも、自分の活動で竹細工の活動が多くなってきました。竹の新しい使い道、可能性を共感できる人が周りに増えてきたように感じます。

(1) イベントの開催

配属先のメインの仕事である、伝統文化の継承を目的にした講演会及び伝統的なダンスや音楽の披露が行われました。ダンスと音楽など迫力があり、東ティモールの文化の素晴らしさが伝わってきました。



ダンスの写真

(2) 竹でクリスマスツリー作り

依頼があり、竹でクリスマスツリーを作製することになりました。締め切りまでの期間が短かったため、竹を取るところから約5日で完成させました。初めて作成するにはよくできたとみんなで話しましたが、時間がなかったからクオリティはいまひとつ。来年はもっと魅力あるものを継続して作ってほしいです。

(3) 学校でワークショップの開催

ポルトガル人が運営する学校でワークショップを開催しました。学校で作ってる約3mのクリスマスツリーに飾る星を竹で作るほか、余った時間はみんなで折り紙でデコレーションを作りました。いつもと違う雰囲気と、生徒も楽しんでくれている様子で楽しく活動することができました。



竹ツリー作製



“竹割り”
刃物の扱いは上手



“竹編み”
みんながやりたがる



“完成”
ツリーに飾ります

(4) 地方オエクシでの竹細工の紹介

インドネシアに囲まれた飛び地オエクシ(1ページ目の地図参照)にもいい竹あるよという友人の話がきっかけで、その友人に会いに船で片道16時間かけて行ってきました。ゆっくり進む船の上でティモール人に囲まれ、荷物を枕代わりに甲板の上で横になりました。寝ても寝ても時間がたたず、景色も変わらず、心が折れそうになった時ようやくオエクシに到着しました。

オエクシは昔、ポルトガル人が初めてティモール島に上陸した地で、道路や港、空港などもディリよりも綺麗に整備されているように感じましたが、友人がいるバキと呼ばれる地区は港から約40分、もちろん道路も舗装されておらず、小さい商店しかない田舎でした。友人の家に宿泊しましたが、とても歓迎してくれているのが伝わり、地方の魅力を改めて実感しました。《第14号終わり》



甲板の上で就寝



迎え入れてくれた家族



竹細工の紹介